

りには町内の小中学生や町内外の消費者が多数参加するほか、農業体験で訪れる首都圏等からの修学旅行生も加わり、都市と農村との交流が生まれている。

d) 地域ぐるみで取り組む活性化

世界農業遺産認定に向けた取組を契機に、新たな地域づくりが始まっている。

地域内の自治会・団体等で構成される「赤生津地域活性化協議会」（図 96）では、地域の自然や生態系の保全を目的とした生き物調査や自然観察会などに取り組んでおり、地域の若い世代が中心となって結成した「母体地域活性化協議会・もたい元気の会」では、地域の歴史を学ぶ研修会や郷土芸能の継承などの取組を行っている。地区外の地域活動団体との交流会などとともに、地域全体へ活性化の取組が浸透している。



図 96 経塚・月山植物ガイドブック等

※ 赤生津地域活性化協議会作成

2) 企業等と連携した地域活性化

a) 西行桜の森

「東稲山さくらの会」では、県内企業との連携により、県内外から集まった参加者が「西行桜の森」周辺を散策しながら、東稲山麓の自然や歴史、文化に対する理解を深めるイベント「平泉・ネイチャーウォーキング」を開催するなど、地域活性化や景観保全に取り組んでいる（写真 97）。



写真 97 平泉・ネイチャーウォーキング

b) イロハモミジの森

「生母生産森林組合」と「いわて生活協同組合」が連携し、奥州市生母地区の旧家の庭園にあり、奥州市の天然記念物にも指定されている 2 本のイロハモミジ（樹齢約 580 年、約 300 年）から苗木をつくり、イロハモミジを植栽するとともに、苗木周辺の雑草等の刈り払い等の活動を行い、東稲山を彩る紅葉の森づくり活動を展開している（21 ページ掲載 写真 26）。

c) 社会貢献プログラムの取組

高齢化・人口減少が課題となっている農村活性化の起爆剤として、企業連携の取組を進めており、これまでに首都圏企業2社と一関市舞川地区の「五区楽そば倶楽部」と平泉町長島地区の「14 区営農環境保全会」が協定を締結し、農地等の保全や特産品商品の開発などの活動を行っている。今後とも、連携先企業の拡大等に向けて取り組むこととしている(写真 98)。



写真 98 連携協定締結式

（８）６次産業化の推進

伝統的な知識システムを育んできた共同・共助の精神に基づき、農事組合法人や女性活動団体等が地域の多様な資源を活用した６次産業化の取組が活発化している。

こうした取組は、農家経営の安定と地域活性化とともに、当システムの将来への発展に寄与するものである。

１）地域資源を生かした６次産業化の取組

ａ）農事組合法人の取組

地元の農事組合法人「アグリ平泉」が生産している小麦のみを使用したパン工房が産直施設に併設され、地域の旬の素材(かぼちゃ、りんごなど)を使った 30 種類以上のパンを製造しており、地域内外の方から好評を得ている(写真 99)。また、最近ではワイナリーを保有し、県外から醸造担当者を迎え入れ、地元で生産されたぶどうからワイン製造・販売までを行い、地域の雇用創出と地域活性化に寄与している(写真 100)。



写真 99 地元産小麦 100%のパン



写真 100 地元産ぶどうのワイ

ｂ）女性活動団体等の取組

地元の女性活動団体が、地元産の米と大豆を使用し、昔ながらの製法で自然熟成させた「長島みそ」は、産直施設やイベント等で販売しており、県外からの購入者も多い(写真 101)。

また、地元産直の加工製造部門で開発された「前沢牛コロッケ」は、地元産食材にこだわり、コロッケに適したキタアカリと前沢牛を材料とし、自社の販売所のほか、高速道路 SA や地域内外の産直施設での販売と、飲食店にも提供している(写真 102)。

この他、地域特産の「からし菜」から加工した「和からしソフトクリーム」、「からし肉まん」等も産直施設などで販売しており、地域内外の方から好評を得ている。



写真 101 地元産大豆の味噌



写真 102 「前沢牛コロッケ」

地元農家が運営する産直施設「産直あいあい」や「母ちゃん市場」では、当地域

の農林業システムによって生産される多様な農産物や加工品が販売されている。

c) 農福連携の取組

社会福祉法人平成会の通所授産施設である「マイリバー」と一関市舞川地区が連携し、地元農家との交流や地域農業の活性化を図るため、「いわてカシス研究会」を設立し、休耕地等を活用しながらカシス栽培に取り組んでおり、収穫されたカシスは、施設でジャムやジュース等に加工販売されている。

d) 観光の取組

一関市舞川地区で造林業を営む個人が、仕事場である杉林の環境美化と保全のため、昭和 58 年、ヒメアジサイを挿し木したのが始まりで、近隣住民だけでなく、全国のあじさい愛好家や業者から苗が提供され、全国的にも珍しい原種のヤマアジサイを中心とした東日本最大級の「みちのくあじさい園」(15ha)を開園している。例年 7 月頃、300 種 3 万株以上のアジサイが広大な杉林に咲き、全国から観光客が訪れている(写真 103)。



写真 103 みちのくあじさい園

この他、各地区では、地域資源を生かした観光客の増加と地域住民の地域への愛着増加等を目的に、「束稲山麓周回トレイルコース」の整備や、「地区案内板」の修繕、地域の見どころをまとめた「マップ」の作成など、地域団体が主体となった取組が積極的に行われている。

e) 地域全体の取組

世界農業遺産認定に向けた取組を契機に、3 地区の交流と特産品の販売促進を目的として「束稲山麓地域 3 市町物産販売促進委員会」が新たに設立された。地域内で 6 次産業化等に取り組む 12 の地域団体が参加し、当地域の魅力や特産品等を紹介する「食の恵みマップ」の作成や、地域内外で特産加工品等を販売・紹介する取組を行っている(写真 104)。



写真 104 地元産業まつりで商品販売

2) 関係機関・団体等による取組支援

市町や県では、地元農産物の付加価値向上や新たな雇用創出等を目指し、6次産業化相談会やセミナー等を開催しているほか、新商品開発や加工施設整備、販路開拓等を支援する制度を活用しながら、6次産業化の取組を積極的に支援している。

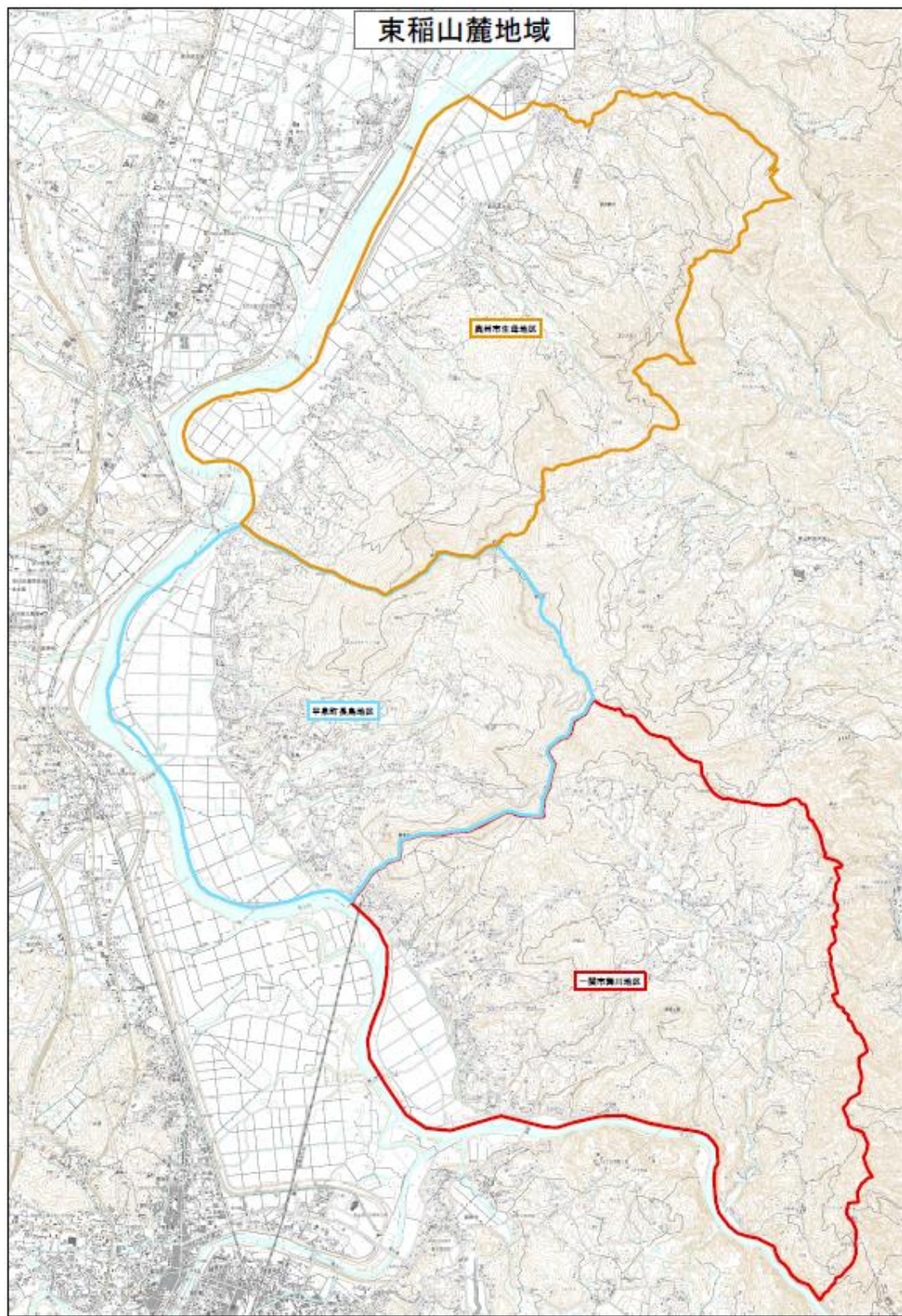
引用・参考文献

1	阿部和夫 北上盆地南端部の水利と農地開発 歴史地理学紀要 22 (1980)
2	阿部和夫 近代平泉の成立と発展 岩手県南史談会研究発表会資料 (2014)
3	阿部和夫 束稲山麓における農村景観の成立とその変化 岩手史学研究 100 号 (2019)
4	丸山幸夫「概観・平泉の産業史 ―農業・商工業―」(1997)
5	山田安彦 明治以降における北上川治水の歴史地理学的分析に関する覚え書 (1975)
6	鈴木軍之進 北上川磐井盆地の治水対策について(1969)
7	梯滋郎・中村晋一郎・沖大幹・沖一雄 「日本の水害常襲地の分布とその特性」 土木学会論文集 B 1 (水工学) (2014)
8	内田和子「遊水地と治水計画 1―応用地理学からの提言―」第 6 章 集落移転と補償問題 株式会社古今書院発行 (1985)
9	「北上川水系河川整備計画」国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所
10	「北上川 全 9 輯」国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所
11	「北上川・陸と海を結ぶ道―江戸時代の舟運―」一関市博物館編集・発行 (2018)
12	長島耕地整理組合二十周年記念開田誌(1952)
13	平成 28 年度束稲山麓地区ため池諸元調査報告書(2017) 計画機関：北上川東部土地改良区 作業機関：岩手県土地改良事業団体連合会
14	平成 29 年度束稲山麓地区節水モデル検討調査報告書(2018) 計画機関：北上川東部土地改良区 作業機関：岩手県土地改良事業団体連合会
15	一関市博物館第 20 回企画展「地を量る ―描かれた国、町、村―」一関市博物館編集・発行 (2013)
16	絵で見る古里「一関郷村絵図」 株式会社岩手日日新聞社発行 (2003)
17	生母生産森林組合「60 年のあゆみ」生母生産森林組合を支援する会編集 (2015)
18	久本真大 「生産森林組合を核とした森林の管理・経営展開の実情と今後の可能性」岩手大学大学院農学研究科修士課程共生環境専攻 修士論文 (2016)

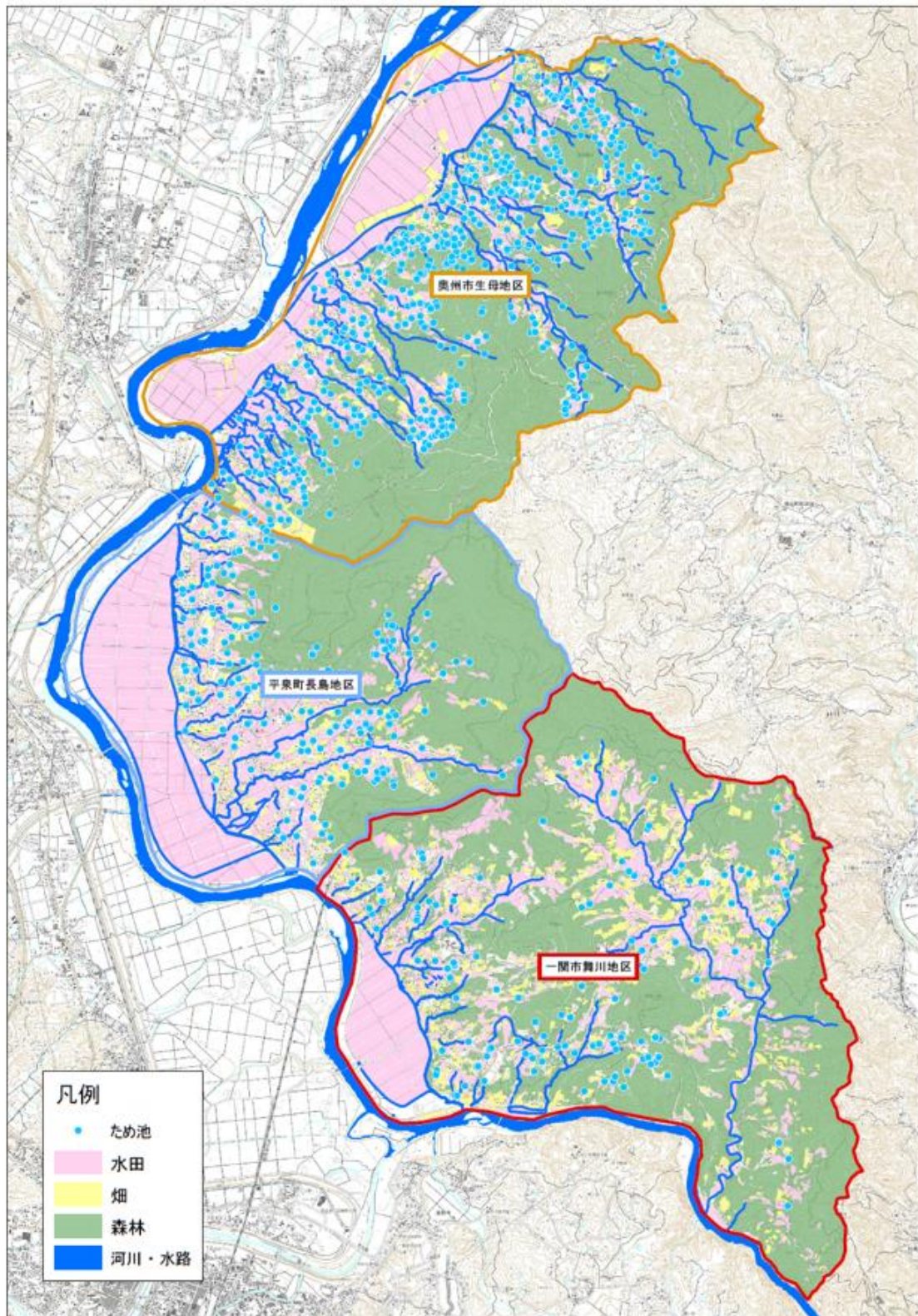
19	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書—総括編— 岩手県奥州市教育委員会 (2013)
20	南部神楽調査報告書 岩手県一関市文化財調査報告書第5集 一関市教育委員会 (2016)
21	舞川地域づくり計画 舞川地域課題対策協議会 (2017)
22	小野寺信吾ら「みちのく古里物語 —舞川の里—」 「みちのく古里物語—舞川の里—」編集委員会編集・発行 (1984)
23	岩手県東磐井郡 生母 村勢要覧復刻版(昭和29年度版) 「生母村 村勢要覧昭和29年度版」を再刊する会 (2018)
24	平泉歴史的地名調査事業「地名の旅」第1集長島編 平泉郷土館編集・発行 (2004)
25	岩手県史 第4巻 近世編
26	「平泉町史 自然編・民族編(一)」 平泉町発行 (1997)
27	前沢町史 上巻(1974)、中巻(1976)
28	一関市史
29	第4次レッドリスト 環境省 (2012)
30	高橋嘉太郎「岩手県下之町村」岩手毎日新聞社発行 (大正14年)
31	藩史大辞典第1巻 北海道・東北編
32	諏訪夢人・西廣淳 「日本における遊水地の分布と立地特性」 応用生態工学会会誌 23巻1号 (2020)
33	いわてレッドデータブック岩手の希少な野生生物 web版 岩手県環境生活部 自然保護課 (2020)

添付資料

1. 地域の位置図

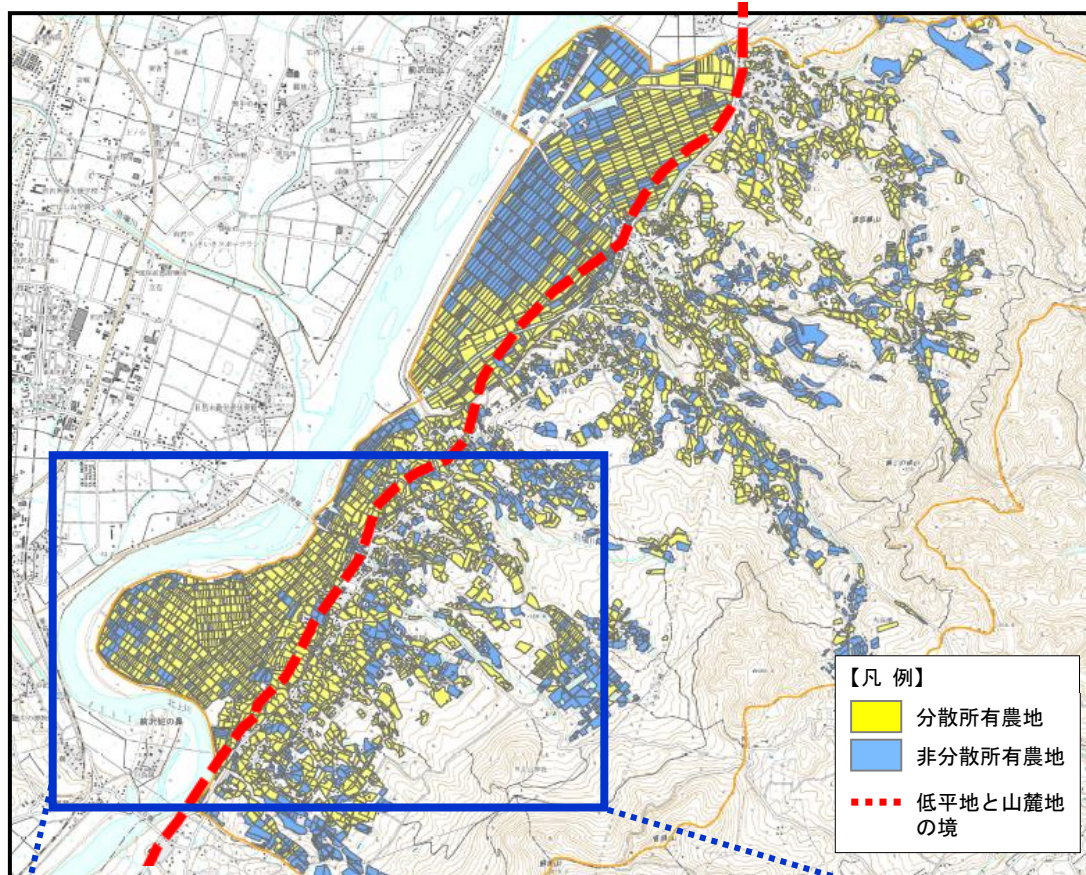


2. 地域の土地利用図



3. 農地の分散所有状況

【奥州市生母地区】



【分散所有農地の面積が多い上位 10 戸の所有状況】

